

## 主題：キリストのからだの実際

メッセージ 7

### キリストの復活の命の中で生きることによって、 キリストのからだの実際の中にとどまる

聖書：コロサイ1:18, ヨハネ11:25, ピリピ3:10-11, IIコリント1:8-9,

ローマ8:11, Iコリント15:58

- I. キリストのからだとしての召会は有機体であり、完全にキリストの復活の命の中にある有機体です——コロサイ1:18：
- A. キリストのからだとしての召会は、キリストの復活の中にある新創造であり、復活のキリストによって創造されます——マタイ16:18, ガラテヤ6:15, エペソ1:19-23, 2:6, 21-22。
  - B. キリストのからだは復活の中にあります。すなわち、その霊の中に、霊なるキリストの中に、究極的に完成された三一の神の中にあります——ヨハネ7:39, IIコリント3:17, マタイ28:19。
- II. キリストのからだの実際の中にとどまるために、わたしたちはキリストの復活の命の中で生きる必要があります——ヨハネ11:25：
- A. 復活の実際は、命を与える霊としてのキリストです——20:22, Iコリント15:45後半。
  - B. わたしたちが自分の天然の命によって生きるのではなく、わたしたちの内側にある神聖な命によって生きるとき、わたしたちは復活の中にいます。この結果がキリストのからだです——ピリピ3:10-11。
  - C. すべて天然の命の中で遂行されるものは、たとえ聖書的であったとしても、キリストのからだの実際ではありません——Iコリント3:12。
- III. 復活は、神に対するわたしたちの奉仕における永遠の原則です——ピリピ3:10-11：
- A. 死を経過しても依然として残っているものが、復活です。
  - B. 復活とは、死から出てきたものであり、また天然の領域を超越したものです。
- IV. キリストの復活の命の中で生きるために、わたしたちは復活の神を認識し、経験し、獲得しなければなりません——IIコリント1:8-9：
- A. 神は十字架を通して働いており、わたしたちを終結させ、終わりへともたらしめます。それはわたしたちがもはや自分自身に信頼するのではなく、復活の神に信頼するためです——9節。
  - B. 復活の神がわたしたちの中で働くとき、彼の命と性質がわたしたちの中へ造り込まれます——4:16。
  - C. 十字架の殺しは、復活の命の現れという結果になります——10-12節：
    - 1. イエスの致死力は、天然の人、外なる人、肉を滅ぼし、その結果、内なる人は発展して新しくされる機会を得て、復活の命を生き出し出します。
    - 2. 主がわたしたちの上で行なっておられるすべての働きは、わたしたちの外なる天

然の人を滅ぼすことです。それによってわたしたちは、内側からキリストの命を生かし出すことができるようになります。これが、クリスチャンの生活に関する新約の最も深い思想です——16節。

3. わたしたちは主と一となり、彼をわたしたちの命またパースンとし、自分自身をわきに置き、死に至るまでも従順になる必要があります。それは、キリストの復活の命がわたしたちの内側から生かし出されるためです——ヨハネ12:24-26。

4. キリストの死にとどまり、彼の死へと同形化されることは、クリスチャン生活の深遠な原則です——ローマ6:4-5. ピリピ3:10:

a. わたしたちはキリストの死にとどまるとき、キリストの復活の力を経験します——11節. ローマ8:11. IIコリント1:8-10. 4:14。

b. このようにしてわたしたちがキリストと共に死ねば死ぬほど、さらに彼の復活の力はわたしたちにおいて現され、さらにわたしたちはキリストのからだの実際の中を生きるでしょう——ヨハネ11:25。

D. わたしたちの天然の力と能力は、十字架によって対処されて、復活の中で役に立つようになります。それは主に対するわたしたちの奉仕のためです——ピリピ3:3。

E. 芽を出した杖は、キリストの復活の中でわたしたちがキリストを経験することを表徴しています。それは、神が与えられた務めにおける權威のために、わたしたちが神によって受け入れられることです——民17:8:

1. 芽を出し、花を咲かせ、実を生み出す杖は、キリストの復活の命を表徴します。

2. 神の民の間のリーダーシップは、復活の命であるキリストご自身でなければなりません。それは芽を出し、花を咲かせ、アーモンドの実を結んで、神の民を養います——8節。

V. わたしたちはキリストの復活の命を力として経験する必要があります。それによってわたしたちは金銭と財物に打ち勝つことができようになります。金銭と物質的な物を復活の中でささげるとは、わたしたちが復活の中の神の行政の下にいることと、物質的な富の所有に打ち勝っていることとの強い表示です——使徒2:44-45. 4:32-35. Iコリント16:1-3。

VI. もしわたしたちがキリストのからだの実際のために、キリストの復活の命によって生きようとするのなら、次のことを必要とします:

A. イエスを死人の中から復活させた方の霊に、わたしたちの中に住んでいただき、また神聖な命をもってわたしたちに浸透していただき、こうしてわたしたちの死ぬべき、死につつある体に命を与えていただき、神のみこころを遂行するよう生かしていただくこと——ローマ8:11. 12:2。

B. 内なる命の管理の下に生き、奇跡的な力よりも命の恵みを評価すること——IIテモテ 4:20。

VII. もしわたしたちがキリストのからだの実際のために、キリストの復活の命によって生きるのなら、わたしたちは堅く立ち、動かされることなく、いつも主の働きに満ちあふれ、わたしたちの労苦が主にあって無駄になることはないことを知るでしょう——Iコリント15:58:

A. わたしたちが主のために、主の復活の命の中で、主の復活の命をもって労苦するこ

とは、決して無駄になることはなく、かえって、神の永遠の御旨を果たすという結果になります。それは、キリストを罪人に宣べ伝えることを通してであり、聖徒たちに命を供給することを通してであり、手順を経た三一の神を金、銀、宝石として経験することによって召会を建造することを通してです——参照、イザヤ**49:4**。

B. この労苦は、義人の復活の日に、再来する主によって、褒賞を与えられます—— I コリント**3:14**. マタイ**25:21, 23**. ルカ**14:14**。

©2006 *Living Stream Ministry*